

BIG BEN

新年 特別号

- p1 林大使新年の挨拶
- p2 佐崎新会長インタビュー
- p3 領事便り：グリーンパークの息吹き／2023年大使館休館日
- p4 エッセー：日英のはざままで第4回／短信①
- p5 活動報告／短信②
- p6 総会報告／同好会案内／お知らせ／短信③



新年の挨拶



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。



林 肇大使
日本クラブ名誉会長

日本クラブは、クラブ会員同士の親善や教育等において在留邦人の生活を支援するとともに、ボランティア活動等を通じて、日英の草の根交流に大きな役割を果たしていただいています。改めて、感謝申し上げます。

昨年9月、エリザベス2世女王陛下の崩御とチャールズ3世国王陛下の即位という歴史的な出来事がありました。女王陛下は70年にわたり、英国の伝統の継承とともに開かれた王室を主導され、また、日本の皇室との長きにわたる交流を通じ、日英友好関係の発展に多大な御貢献をされました。日本から天皇皇后両陛下がエリザベス女王陛下の国葬に御参列になったことは、日英関係が特別なものであることを示すものとして、英国の方々には大きな好感をもって受け止められました。本年5月には新国王の戴冠式が予定されており、日英友好を更に深める機会となることが期待されます。

英国内では、昨年中に首相の交代が2度ありました。そのような特別な年でしたが、この間においても、昨年5月の岸田総理の訪英に加え、首脳や外相の間で会談が頻繁に行われるなど、日英二国間の連携は着実に深化して来ました。日英両国は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現、ウクライナ情勢への対応、エネルギー問題や気候変動問題等のグローバルな課題に取り組む上での強力なパートナーです。本年も、引き続き英国政府と協力し

て両国の連携を一層推進して行きたいと考えています。

例えば、安全保障・防衛協力の分野では、去年は海上自衛隊練習艦隊が英国に寄港したほか、海軍・陸軍種間での共同訓練も行われました。次期戦闘機開発に向けた協力は、日英の安全保障・防衛協力が真の意味で「新たな段階」にあることを示しています。これらは欧州大西洋地域とインド太平洋地域の双方を含め、国際社会全体の平和と安定に一層寄与するものです。

このような日英協力の基盤の一つとなるのが、国民レベルでの日英相互理解の増進です。昨年、英国では新型コロナ関連の規制が全て撤廃され、社会・経済・文化活動はコロナ以前の水準に戻りつつあり、今後も活性化していく見込みです。一例を挙げるだけでも、クイーンズ・ギャラリーにおける日本関連の展示、舞台「となりのトトロ」の上演、ジャパン・ハウスにおける飛騨の木工製品等の展示など、日本文化を紹介するイベントが多数開催され、いずも好評を博しています。

日英間の草の根の交流が本格的に再開できたことも嬉しいニュースです。昨夏は200名超のJETプログラム参加者が日本へ渡航し、学校での英語指導助手等として日本各地で勤務を始めました。さらに、昨年10月には、英国籍者が短期訪日する際の査証免除措置が再開され、日英間の人の往来も着実に増加しています。

新しい年においても、皆様の御理解と御協力を得ながら、かつてなく緊密な日英関係を更に発展させ、そして、在留邦人の方々に様々な支援やサービスを提供できるよう努めて行きたいと考えています。

本年が皆様にとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

新春 ❀ インタビュー

日本クラブ 佐崎孝教会長に聞く

日本クラブの2023年度会長に就任した佐崎孝教さん（三菱UFJ銀行専務執行役員欧州担当）に、新年の抱負と今後のクラブ運営についてうかがいました。（聞き手：2022年度広報委員長 植田粧子）

サステナブルな体制作りに注力 サービス向上と会員数増加を目指す

— 2度目の会長就任の抱負をお聞かせください。

前回私が会長を務めさせていただいた2020年度は、新型コロナウイルスのパンデミックの中、診療所閉鎖という苦渋の選択をしました。一方でその後、日本クラブは法人会員でもあるジャパングリーンメディカルセンターさんと協力して会員への医療情報の提供を始めます。本年度も、この医療情報の提供を含め、日本クラブの3本柱である医療、教育、文化交流の促進を通じて、英国に在住する日本人の皆さんの生活、日本企業の活動に貢献できるよう、しっかりと運営していきたいと思っています。診療所閉鎖により急激な財政悪化には歯止めをかけられたものの、英国全体の邦人数が減少する中、日本クラブにおいても、法人・個人ともに会員数は減少傾向にあります。今後は会員向けのイベントやセミナーをより充実させ、サービスの向上を進め、会員数の維持・増加を目指していきたいと考えています。

一方、徹底したコスト削減に加え、長年据え置かれている会員費の値上げを検討し、日本クラブのサステナブルな体制作りに注力していきたいと思います。

— 最近の英国政治の混乱の影響をどうみますか。

短い期間に2度の首相交代を経験しました。現政権はマーケットとの対話も含め、地に足の着いた政策の打ち出しが期待できるように思います。欧州経済に関する懸念はいくつかありますが、大きな流れでは、2010年代～2020年代初めの景気安定期から、足元はウクライナ危機など地政学リスクも含めた転換期を迎えていて、そのショックが最初に欧州に現れてきている状況だと理解しています。英国だけがとりわけ心配とは思っていません。

— 英国生活で何が最も印象に残っていますか。

エリザベス女王の在位70年を祝う「プラチナ・ジュビリー」です。バッキンガム宮殿の近くでコンサートを

見たのがいい思い出です。女王の崩御は出張から戻る飛行機内アナウンスで知り、驚きました。英国の象徴とも言える存在ただただに大変残念です。改めて女王陛下のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

— ロンドンのお薦めスポットを教えてください。

パブでしょうか。300年の歴史があったり、元銀行だった場所を利用したり、洞窟のようなところに入っていくとバーカウンターがあったり。由緒あるパブがたくさんあり、かしこまっているわけじゃなくて、造りが素晴らしいです。英国のドリンク文化には歴史があり、ウイスキーやワインなど著名な評論家もたくさんいます。ウイスキーの醸造所巡りをしましたが、とても楽しかったです。

【プロフィール】

佐崎孝教（さざき・たかのり）さん



1964年生まれ。58歳。東京大学法学部を卒業後、東京銀行に入行。三菱UFJ銀行常務執行役員欧州担当、常務執行役員アジア担当などを経て、2022年4月から現職。家族は妻と子供2人。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



「びっぐべん」編集部一同



領事便り グリーンパークの息吹き

在英國日本国大使館 領事 園部 健治

領事手続きの電子化に向けた取組の続報と、
日本の水際対策変更に伴う新しい入国・帰国される場合の手続きをお知らせします。

1 領事手続きの電子化に向けて（その2）

外務省は、2023年3月27日（月）から、旅券発給を申請する場合、従来の紙申請に加えて電子申請も可能となり、申請時の出頭が不要となること、また、電子申請した場合のクレジットカードによる手数料のオンラインでの支払いも順次可能となることを発表しました（昨年9月30日）。また、証明につきましても、今年度中に電子申請が可能となるよう準備を進めています。

なお、旅券、証明の電子申請ともオンライン在留届（ORRネット）⁽¹⁾を通じて行うこととなりますので、在留届をオンラインで提出されていませんと電子申請が行えないこととなります。また、届出されていても、紙媒体で届出られた場合は、電子届出に切り替えていただきませんと電子申請が行えないこととなります。



特に紙媒体で届出された方にとりましては、わざわざ電子届出に切り替える必要があるのか、面倒ではないかとお考えの方がいらっしゃるかもしれません。しかしながら、切り替え後は、住所等記載事項に変更が生じた場合、帰国、第3国への転出の場合、ご自身がオンラインで変更したり、届出できるようになります。加えて、今後、領事手続きの電子化が進む中で、オンライン在留届はその基盤となるものですので、この機会にオンライン在留届への切り替えをお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、領事班までお問い合わせください。

関申告」を一つのウェブ上で行うことが出来るようになりました。既に利用された方もいらっしゃると思いますが、帰国の際の手続きがスムーズに行えるようになりますので、ぜひご利用ください。



令和5年（2023年） 在英國日本国大使館休館日

1月2日 [㊟] New Year's Day ^振	8月28日 [㊟] Summer bank holiday
1月3日 [㊟] 年始休暇	9月18日 [㊟] 敬老の日
2月23日 [㊟] 天皇誕生日	10月9日 [㊟] スポーツの日
4月7日 [㊟] Good Friday	11月3日 [㊟] 文化の日
4月10日 [㊟] Easter Monday	12月25日 [㊟] Christmas Day
5月1日 [㊟] Early May bank holiday	12月26日 [㊟] Boxing Day
5月8日 [㊟] Bank holiday for the coronation of King Charles III ^振	12月29日 [㊟] 年末休暇
5月29日 [㊟] Spring bank holiday	

^振：振替休日

閉館時の事件、事故等により大使館に連絡する場合は、以下の大使館代表番号にご連絡ください。日本語による閉館時対応サービスが受けられ、緊急に対応を要する場合には当番者に繋がります。

TEL: 020-7465-6500

在英國日本国大使館領事窓口取扱時間（予約制）
月曜～金曜（休館日を除く）：午前9時30分～午後4時30分

Embassy of Japan 101-104 Piccadilly, London W1J 7JT
http://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji.html

Arrival



到着

2 日本入国・帰国時の手続き

昨年11月1日から、日本の水際対策が変更され⁽²⁾、それまでWeb上で検疫手続きを行うことが出来た任意のファストトラック（My SOS）がVisit Japan Web（入国手続きオンラインサービス）に統合され、「検疫」、「入国審査」、「税

園部 健治（そのべ けんじ）

2022年3月着任。20年ぶり2度目の英国勤務。福島県出身。サンドイッチ、印カレーが好物でクリケット観戦が至福の時間。いずれも満喫できるロンドン勤務に感謝。

¹ 在留届に関する情報：www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/index_000024.html

² 水際対策に関する情報：www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

「Common」 こもごも

「最もroyalな人が最もcommonなO型」と、イギリスの新聞にしては珍しく血液型にまつわる報道をされたエリザベス2世が亡くなり、2022年は激動の年であったと思わずにはられません。プラチナ・ジュビリーの行事をこなし、トラス前首相の任命など最後まで公務に携わり、これほど「dedication」という言葉がふさわしい方もいないのではないかと思われました。下院ではElizabeth the Greatという表現で呼ばれ、「固有名詞＋the＋Great」のこのような使い方があるということを再認識。確かにイギリスの王室に限らず、歴史上の人物には同じような名前が多く登場するので、区別するため、特に功績のあった人物には、このような呼称を使用しているのです。

個人的には、一方的にですが、エリザベス女王には並々ならぬ恩義を感じています。というのも、イギリス人の夫との結婚を決めたその昔、夫よりも私の方が主になりそうな結婚を心配していた両親に、ある方が「エリザベス女王の国ですから」と言ってくださったのです。その途端、もう他に何の説明がなくても、親は全てを理解して納得してくれました。絶大なるエリザベス女王の威力により、こうして超庶民のカップルが無事に1組成立したのです。

さて、チャールズ3世の時代はどのような世となるでしょうか。毎日目にするお札やコイン、切手まで流布するにつれて、新しき時代を感じるようになるでしょう。

一方、王室だけでなく、庶民の選出した国会議員から

なる下院 (the House of Commons) の最高峰の首相も目まぐるしく変化しました。スナク首相は、初のアジア系、ヒन्दゥー教徒など、その枕詞を並べてみると、イギリスの多様性がより進んできたことを実感します。ただし、優秀な経済通の首相ですが、裕福な家庭出身のため、どれだけ庶民の状況がわかるかがポイントとも言われています。総選挙で国民の声を聞くべきという圧力もあり、まだまだ様々なストが頻発しそうな流れです。

そんなスナク首相就任の数日後、労働年金省から冬期暖房費支払いの通知が届き、上がごたごたしている間も、その下で黙々と仕事をしている人々がいることを感じました。また、2年半ぶりに日本に一時帰国したフライト中に、「The Duke」という映画を見ました。年金生活者のテレビ視聴料を無料にせよとキャンペーンをしたケンプトン・バントンを題材にしたもので、このような人のお蔭で自分の現在が支えられているのだと痛感しました。こういった人々の存在を知ると、自分も何かしら社会貢献できればと思わざるを得ません。社会に何かを付け加えプラスになるように働く道もありますし、健康に気を付けてなるべく公的医療費を使わない、電気、ガスの使用を抑えるなどマイナスの貢献もあるのではと考えます。

2023年が皆様にとって健やかな、より良い年となりますように、お祈りいたしております。

笹川 真理子 (ささがわ まりこ)

教育コンサルタント、教師、通訳、児童文学翻訳、文筆業。
新潟生まれ。在英35年。「びっぐべん」で様々なエッセーシリーズを執筆。



サム・ソーン氏

サム・ソーン氏、ジャパン・ハウス ロンドンの新館長・CEOに就任

初代館長のマイケル・フーリハン氏に替わり、サム・ソーン氏が2022年10月17日付でジャパン・ハウス ロンドン

の新館長・CEOに就任した。ソーン氏は、前職では過去6年間を通して、英国の美術館であるノッティンガム・コンテンポラリーを統括。さまざまな文化体験を組み合わせた斬新なプログラムを提供してきた。

長年にわたり、日本の文化と関わってきたと話す同氏は、「国境を越えた対話と文化交流がかつてないほど重要性を増している現在、ジャパン・ハウス ロンドンは、未来の対話とパートナーシップを形成する上で理想的な立場にあると思います。初代館長マイケル・フーリハン氏の素晴らしい業績を基に、チームと一緒にこの新しい章をスタートさせることを楽しみにしています」とコメントしている。(写真：ジャパン・ハウス ロンドン提供)

日本クラブのイベント & 同好会の活動報告

ハマースミス公園日本庭園、清掃ボランティア



日本庭園の清掃風景

シェパーズブッシュのハマースミス公園内の日本庭園での清掃作業が2022年10月9日に行われました。今年には日本クラブからの参加者42名を含む総勢57名が、池の藻の除去や、草刈りなどの作業にあたりました。ランチタイムには、日本大使館の岡崎泰之公使、ハマースミス&フラム区議会委員のナタリア・ペレス氏から、ねぎらいの言葉があり、日本クラブ提供の和食弁当が参加者全員に配られました。好天に恵まれ、子どもたちは小さなカエルやイモリを見つけるなど、自然のなかで秋の一日を過ごしました。

2つの歴史散策ツアーが開催

シティ・オブ・ロンドン公認ガイド、坂次健司さんがナビゲーターを務める2つの歴史散策ツアーが開催されました。10月22日は、世界遺産のグリニッジを散策。天文台の豆知識や、知る人ぞ知る秘密に、参加者は熱心に耳を傾けました。11月12日に開催されたのは、大英博物館見学ツアー。こちらも知らなければ通り過ぎてし

もう興味深い展示物と隠された逸話の数々に魅了されて、あっという間に2時間のツアーが終了しました。大人気ツアーにつき、1月14日に追加開催します（募集は終了しました。次回は11月の予定です）。

1月~3月のイベントカレンダー

- ◆1月14日① 謹賀新年 大英博物館ツアー
- ◆1月20日② 第1回シティ散策座学セミナー 広重も驚く「江戸とシティの比較論」
- ◆2月17日③ 第2回シティ散策座学セミナー ロンドンと技術革新の歴史
- ◆3月17日④ 第3回シティ散策座学セミナー 歴史の断片から「日露戦争再発見」

※日程、内容は予告なく変更となることがあります。詳細はホームページでご確認ください。

活動報告：グリーンコーラス

6月の定期演奏会後に新入団員も増え、賑やかにキャロルの練習に励みました。12月には、久しぶりに教会でのクリスマスミサに参加。2023年2月には老人クラブにてランチタイムコンサートも開くことになりました。（詳細、見学などのお問い合わせは6ページをご覧ください）



短 信

COMMUNITY PLAZA

マイク・ウィリアム・ウェイトマン氏に外務大臣表彰

原子力コンサルタントのマイク・ウィリアム・ウェイトマン氏が令和3年度外務大臣表彰を受賞。ウェイトマン氏は、2011年5月、日本政府の要請で組織されたIAEA福島事故調査専門家チームの団長として訪日し、日本政府及びIAEAに報告書を提出。その後も、日本政府のアドバイザーとして、日本の原子力安全に貢献している。表



①

彰式は、2022年4月8日、在英国日本国大使公邸で行われた。（写真① 在英国日本国大使館提供）

クレア・ポラード博士に外務大臣表彰

日本美術専門家として、美術館・博物館において日本関連の特別展の開催などを通し、日本文化の普及に貢献したとして、アシュモレアン博物館日本美術担当学芸員のクレア・ポラード博士が令和3年度外務大臣表彰を受賞。表彰式は、2022年4月29日、在英



②

国日本国大使公邸において行われた。（写真② 在英国日本国大使館提供）

メアリー・ハワース・アーデン卿が旭日重光章を受章

英国最高裁判所判事として、司法分野における日英の関係強化及び相互理解の促進に貢献したとして、メアリー・ハワース・アーデン卿が令和4年春の外国人叙勲で旭日重光章を受章。2022年9月1日、在英国日本国大使公邸において、叙勲伝達式が行われた。（写真③ 在英国日本国大使館提供）



③

2023年度 日本クラブ理事一覧表 (敬称略)		
名誉会長 特命全権大使 林 肇		
会長	佐崎 孝教	三菱UFJ銀行
副会長	桑田 成一	丸紅
副会長	宮田 裕彦	三井物産
副会長	高田 明彦	三菱商事
副会長	芹澤 総太	日本郵船
副会長(兼書記長)	森田 考則	伊藤忠
副会長(兼副書記長)	今井 成人	農林中央金庫
副会長	西田 直敏	日立
医療サービス(正)	福原 成吾	KDDI
医療サービス(副)	井上 尚幸	住友商事
日本人学校運営(正)	西田 直敏	日立
日本人学校運営(副)	戸田 真介	みずほ銀行
会員サービス・イベント(正)	森本 浩徳	三井住友海上
会員サービス・イベント(副)	岡 真司	ENEOS
会員サービス・イベント(副)	代田 英展	大和証券
広報(正)	篠田 航一	毎日新聞
広報(副)	上原 裕之	日本航空
監査	佐野 浩平	日本生命
無任所	渡辺 真吾	日本銀行
無任所	中石 育孝	JETRO

日本クラブ年次総会 (2022年12月8日)

2022年度日本クラブ総会が12月8日(木) オンラインで開催された。クラブ名誉会長の林肇大使より、この1年に端を発した世界を取り巻く困難や、英国におけるポストコロナのなかで、今後日本クラブの活動に一層期待が高まる旨の挨拶があり、続いて各委員会からの活動報告、22年度決算及び23年度予算の承認、23年の活動方針と新役員の承認を経て、高田前会長から佐崎新会長にバトンタッチが行われ、総会は無事に終了した。

2022年度決算・2023年度予算 (総会承認)

	2022年度決算	2023年度予算
〈経常収支〉	£	£
収入	401,668	350,483
支出	494,737	442,769
収支	(93,069)	(92,286)
〈経常外収支〉		
受取利息その他	1,429	0
税引前損益	(91,640)	(92,286)
法人税	0	0
税引後損益	(91,640)	(92,286)

日本クラブ新規加入の法人会員

◆ SLAUGHTER AND MAY

日本クラブ・ゴルフ同好会

◆ 月例会：開催中
◆ 会場：Maidenhead Golf Club
◆ 問い合わせ：☎07956 551363 (外山健二) kenjitoiyama787@gmail.com
随時入会受付中 (申し込みはHPから)

日本クラブ・ブリッジ会

◆ 例会：毎週木曜日 (11:30am 開始)
◆ 会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ (<http://ycbc.co.uk>) 見学者歓迎
◆ 問い合わせ：
holbourne.sachiko@gmail.com

日本クラブ・グリーンコーラス

◆ 練習日：毎週月曜日 (10:15 ~ 12:30)
◆ 会場：Trinity Church, Golders Green
◆ 問い合わせ：
londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ囲碁会

◆ 例会：毎週土曜日 (14:00 ~ 20:00)
◆ 会場：Inn of Court Pub 地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分
◆ 問い合わせ：☎07956 594040 (田中) tanaka@gokichi.org.uk

短 信

COMMUNITY PLAZA



ヴェンカトラマン・ラマクリシュナン博士が旭日重光章を受章

元王立協会会長ヴェンカトラマン・ラマクリシュナン博士が令和4年春の外国人叙勲で旭日重光章を受章した。ラマクリシュナン博士は、王立協会会長として、また科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 等で、日英間の研究交流及び科学技術協力の促進に貢献。2022年9月28日、在英国日本国大使公邸において、叙勲伝達式が行われた。(写真① 在英国日本国大使館提供)

レベッカ・ソルター王立美術院理事長に外務大臣表彰

日英の芸術・文化交流の促進に大きく貢献したとして、レベッカ・ソルター王立美術院理事長が、令和4年度外務大臣表彰を受賞。ソルター氏は、京都で日本の木版画を学んだ後、世界各地で制作活動や展示を行い、ロンドン芸術大学や王立美術院で日本の木版画の教育に携わってきた。2022年には王立美術院において河鍋暁斎展を企画・開催するなど、国外ではあまりよく知られていない日本の芸術に触れる

多くの機会を、英国の人々に提供している。2022年10月12日、在英国日本国大使公邸において、表彰式が行われた。(写真② 在英国日本国大使館提供)

原三郎氏に百歳以上高齢者の表彰

2022年10月14日、川瀬和広総領事は原三郎氏を訪問し、令和4年度海外に居住する百歳以上高齢者の表彰を行った。川瀬総領事は、岸田総理大臣からの祝状及び記念品を原氏に贈呈した。(写真③ 在英国日本国大使館提供)